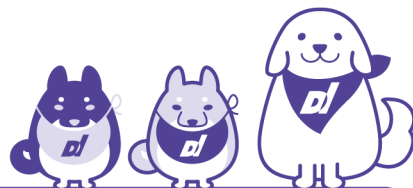




おまた くみこ
尾又 久美子

担当 ライフサロン栃木大田原店
お客様係



実りの秋、黄金の稲穂がこうべを垂れる季節となりました。皆様におかれましてはお健やかに過ごしのこととお喜び申し上げます。

今回は、普段本を読まない自分には難しいお題が回ってきました。ご紹介したい本は「マンガぼけ日和」です。原案は認知症専門医の長谷川嘉哉先生、著者は芸人でマンガ家の矢部太郎さんになります。先に「ボケ日和」という本を長谷川先生は出しています。7万人の方が手に取って頂いたが、認知症患者さんは早期を含めると1000万人を超えているため、正しい認知症の情報を伝えることには足りない、もっと多くの方に理解してもらえる漫画化を考え、矢部さんに手紙を書き実現したそうです。

内容は長谷川先生の日々の診察や自身の経験をもとに、認知症の患者さんとその三つのご家族のやり取りが、思わず「ふふっ」と笑みが出る、温かいストーリーになります。

悲しい話もありますが、やさしい漫画のタッチのおかげもあり、ほっこりとした気持ちで認知症をとりまく家族を理解できる気がします。知識があつたら、最期の時に笑顔で見送れる。私は身内が認知症でしたが、生きている間にこの本を私や家族が読んでいたら、もっと違った接し方ができたと思います。皆様も、もしかしたら家族が、もしかしたら自分がそうなったときに知っていたら、不安なく、優しくなれる本だと思います。ぜひ読んでみてください。

皆様の秋が実り多きものとなりますよう、心よりお祈り申し上げます。